

# PREAMP MKII

AUTOMATONE™

## INSTRUCTIONS

Chase Bliss Audio Preamp MKIIの世界へようこそ。Benson AmpsのビルダーChristopher Bensonとのコラボレーションで製作された、最初のAutomatoneシリーズです。

Benson Preampのオリジナルサウンドとコントロールに加えて、CBA Preamp MKIIでは複数のクリッピングダイオード選択、ローインピーダンスのオープン/ゲートシリコンファズ、調整可能なQを備えたプリ/ポストのパラメトリックミッドレンジコントロール、10プリセットx3バンクによる設定のリコールを搭載。そしてフル機能のエクスペリションペダル/ CV/MIDIコントロールに対応しています。めくるめくフェーダーの世界へ足を踏み入れましょう。



### FADERS

ペダルのフェーダーはVolume:ボリューム、Treble:トレブル、Mids:ミドル、Frequency:ミドルの周波数帯、Bass:ベース、Gain:ゲインをコントロールします。プリセットが変わるとサウンドも瞬時に変更され、フェーダーが保存されたセッティングへ自動的にジャンプすることでセッティングを視覚的に確認ができます。フェーダーはEXPペダルやCV、MIDIに追従して自動的に動きます。

### GAIN, VOLUME, TREBLE, BASS

Automatone Preamp MKIIにはBensonのChimeraチューブアンプからインスパイアされたBenson Preampが搭載されており、12AX7真空管ステージの代わりにFETトランジスタを採用しました。Chimeraアンプと同様のGain, Treble, Bassに加えマスターのVolumeが追加されています。オリジナルのPreamp同様、クリーンブーストからオーバードライブ、ファズといった幅広いサウンドを音楽的なEQでコントロールすることが可能です。

### MIDS-FREQ

MidsとFrequencyのコントロールはChase BlissのCondorペダルと同様のものが搭載され、非常に幅広くアクティブなパラメトリックミッドレンジコントロールを提供します。サウンド中域のフリークエシーを18dBまでブースト、またはカットすることが可能です。Midsのフェーダーが中央の位置では、ブーストまたはカットは行われません。中央からフェーダーを上げると選択した帯域をブーストし、下げるとカットします。Midsフェーダーによって制御される帯域はFreqフェーダーで決定されます。Freqが最大付近では4kHzあたり、すべて下げると大体150Hzあたりが選択されます。

## FOOTSWITCH FUNCTIONS

### PRESET/BANK

各バンクに保存された10のプリセット(LEDディスプレイに0-9で表示)を切り替えます。長押しすると3つのバンクが切り替わり、Bank LEDで表示されます。LED無し:バンク1、赤LED:バンク2、緑LED:バンク3。

30のプリセットはペダル単体ではこのスイッチでのみ切り替えが可能です。MIDIコントロールでプリセットの呼び出しも可能です。

### BYPASS/SAVE

Preamp MKIIのオンオフを切り替えます。

ボタンを長押しするとEXPペダル設定を含む全てのオーディオ設定を現在のプリセットナンバーへ保存します。

現在の設定を他のプリセットナンバーへ保存したい場合は、JUMPアーケードボタンを押しながらPRESETボタンを押して保存したいナンバーを選択し、BYPASSボタンを長押しして保存します。

BANKの切り替えはPRESETボタン長押しで行えます。

# ARCADE BUTTONS

## JUMP

素早く目的のプリセットへジャンプする機能で、PRESETフットスイッチを組み合わせてバンク内のプリセットに任意のグループを作ることができます。JUMPが有効のときPRESETスイッチを押すと、プリセットが0または5へ切り替わります。例えば現在プリセット6を選択しているとして、JUMPボタンが青(0)のときPRESETスイッチを押すと、プリセットは0へスキップします。同じプリセット6でJUMPボタンが赤(6)のときは、PRESETスイッチでプリセットは5へスキップします。この設定は各プリセットへ保存されます。特定のプリセットのみを交互に入れ替えたり、バンク内に任意のプリセット数のグループを作ること、素早くお気に入りのセッティングへ到達が可能になります。

## MIDS

パラメトリックミッドコントロールはBenson Preamp回路前(プリ)または後(ポスト)から配置を選択できます。OFFが選択されているとパラメトリックミッドサーキットはペダルから取り除かれ、MIDSとFREQフェーダーは無効になります。

## EXPRESSION

エクスプレッションペダルを使用するには、Preamp MKII背面のEXPジャックとエクスプレッションペダルをTRSケーブルを使って接続します。デフォルトではEXPペダルにパラメーターは割り当てられておらず、EXPRESSIONメニューから操作するフェーダーを設定する必要があります。

またEXPジャックへは0-5Vのコントロールボルトテージ(CV)を入力してペダルの操作もできます。その際はリングフローティングのTRSケーブルが必要です。

### エクスプレッション・ペダルの設定方法例:

- PRESETとBYPASSフットスイッチを同時に押して、EXPペダルのセットアップメニューを開きます  

- フェーダーを最大まで上げるとそのパラメーターをEXPペダルへ割り当て、最大まで下げると割り当てを解除します  

- PRESETスイッチを押すと、トールポジション(EXPペダルを踏み込んだ)設定ページを開きます  

- フェーダーで設定した値がEXPペダルのトールポジションの最大値となります  

- TAPスイッチを押すとヒールポジション(EXPペダルを踏み戻した)設定ページを開きます  

- フェーダーで設定した値がEXPペダルのヒールポジションの最大値となります  

- PRESETとBYPASSフットスイッチを同時に押して、EXPペダルのセットアップメニューを閉じます  


## Q

MIDS-FREQフェーダーの設定に影響するボタンです。3つのMidsレゾナンス設定を切り替えパラメトリックミッドレンジコントロールの"Q"を選択できます。LEDオフでワイドなブースト/スクープ、青は帯域をフォーカスする設定、赤は更に狭い設定になります。

## DIODE

ドライブ回路のダイオードクリッピングをOFF:トランジスターのみ(Benson Preampのオリジナル設定)、SIL:対称シリコンクリッピング(Tube Screamerライク)、GERM:非対称ゲルマニウムクリッピング(Centaurライク)で切り替えます。

## FUZZ

Preampセクションとミッドレンジコントロールの前に搭載されているFUZZセクションのモードを切り替えます。OFF、フルオンでワイドレンジなOPEN、またはゲートの強いGATEDから選択します。

## EXPRESSION MENUS

EXPペダルを設定するセットアップメニューには3つのページがあります。"E"のページはEXPペダルで操作する各パラメーターの割り当てを設定します。"t"のページはEXPペダルを最大まで踏み込んだポジション(トールポジション)のパラメーター、または5VのCV時のパラメーターを設定します。"H"のページはEXPペダルを最大まで踏み戻したポジション(ヒールポジション)のパラメーターまたは0VのCV時のパラメーターを設定します。"t"と"H"で設定したポジションの間を、EXPペダルまたはCVで可変できることになります。設定時は各ページのみの変更も可能で、毎回すべてのページ設定を行う必要はありません。この設定はメニューから出てBYPASSを長押ししてプリセットを保存したとき(またはMidiで保存するCCを送信したとき)、初めて保存がされます。

※Preamp MKIIでは、厳密にはEXPペダルではなくフェーダーのコントロールレンジを設定しています。そのため設定中にEXPペダルを動かす必要はありません。

Eページで操作に割り当てられていないフェーダーは、t/Hページではプリセットで設定されたセッティングが保持されます。そのため現在のセッティングとEXPペダルの操作幅を比較しつつ、最適なコントロールレンジを設定ができます。

このEXPペダル設定はローカルとして保存され、EXPペダル設定を開いたときの各プリセットナンバーに対応します。つまり30個のプリセットに対し30種類のEXPペダル設定が可能ということです。

## エクスペッション・ペダルの設定方法例:

- 1 PRESETとBYPASSフットスイッチを同時に押して、EXPペダルのセットアップメニューを開きます
 
- 2 PRESETスイッチを長押しして、Globalモードを有効にします。"E"横にドットのLEDが点灯します
 
- 3 フェーダーを最大まで上げるとそのパラメーターをEXPペダルへ割り当て、最大まで下げると割り当てを解除します
 
- 4 PRESETスイッチを押すと、トールポジション (EXPペダルを踏み込んだ) 設定ページを開きます
 
- 5 フェーダーで設定した値がEXPペダルのトールポジションの最大値となります
 
- 6 TAPスイッチを押すと、ヒールポジション (EXPペダルを踏み戻した) 設定ページを開きます
 
- 7 フェーダーで設定した値がEXPペダルのヒールポジションの最大値となります
 
- 8 PRESETとBYPASSを同時に押して、GlobalのEXPペダルのセットアップメニューを閉じます
 

## GLOBAL EXPRESSION

EXPペダルの設定メニュー時、PRESETスイッチを長押しするとGlobal Expressionモードを有効にします。共通した1つのEXPペダル設定を、すべてのプリセットに適用するモードです。どのプリセットからEXPペダル設定を開いても共通のEXPペダル設定メニューとなり、変更はすべてのプリセットへ適用されます。Globalモード時は、EXPペダル設定メニューの"E"の横にドットのLEDが点灯します。各プリセットごとに独立したEXPペダル設定、またはすべてのプリセットに共通した設定、2つのオプションを選択することが出来ます。

Global Expressionモードを設定後、PRESETとBYPASSボタンを同時に押すとEXPメニューを終了し、Global Expression設定をすべてのプリセットへ適用します。プリセットをスクロールしても1つの共通のEXP設定が共有されます。各プリセットに個別のEXPペダル設定を適用したい場合は、PRESETとBYPASSスイッチを長押しして再度EXPペダル設定メニューを開き、PRESETスイッチを長押しします。文字横のドットLEDが消灯するとEXPペダル設定がLocalモードになったことを表し、各プリセットに個別のEXPペダル設定が適用されます。

コンセプトのいくつかは、ビデオで紹介したほうがわかりやすいでしょう。Chase BlissのYoutubeチャンネルにはたくさんのビデオマニュアルとチュートリアルがあるので、チェックしてみてください。

[youtube.com/ChaseBlissAudio](https://www.youtube.com/ChaseBlissAudio).

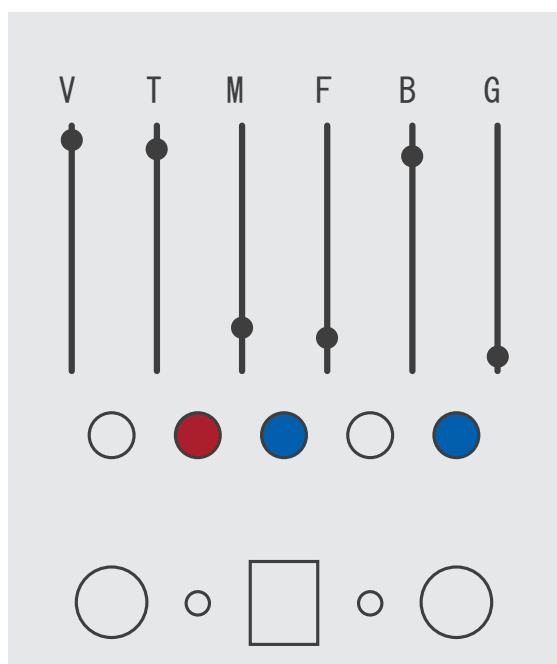
ご意見 ご質問、ご感想はいつでも歓迎です!

[chaseblissaudio.com/contact](https://chaseblissaudio.com/contact).

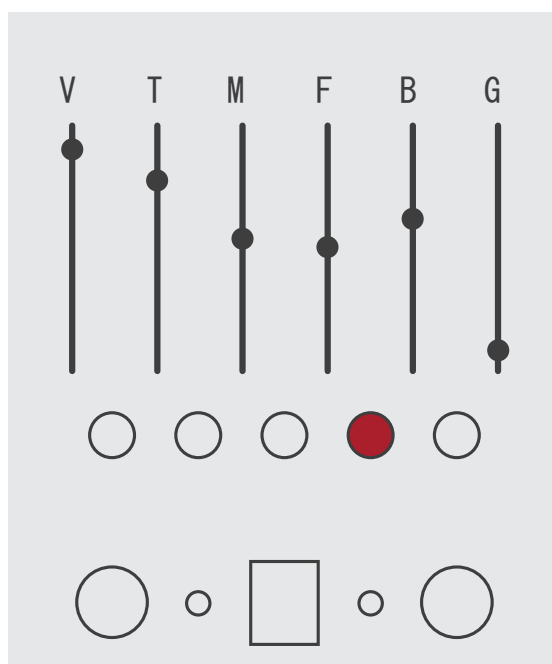
または国内代理店 HP まで。

Thank you so much for purchasing this product and ENJOY!

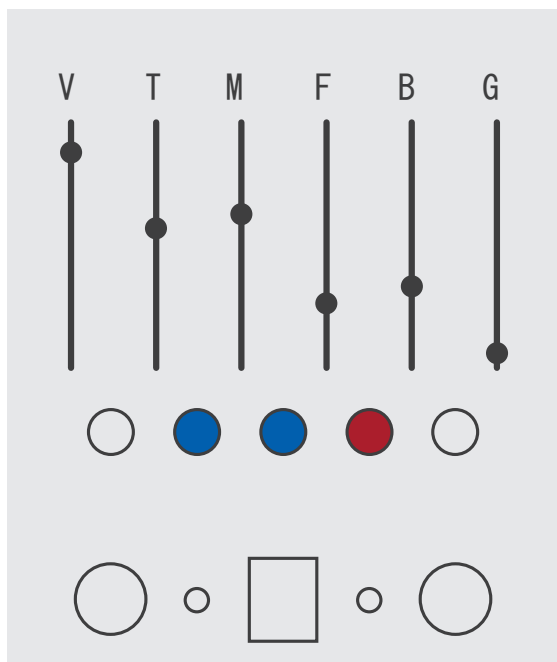
## PRESET NAME PUMPKIN



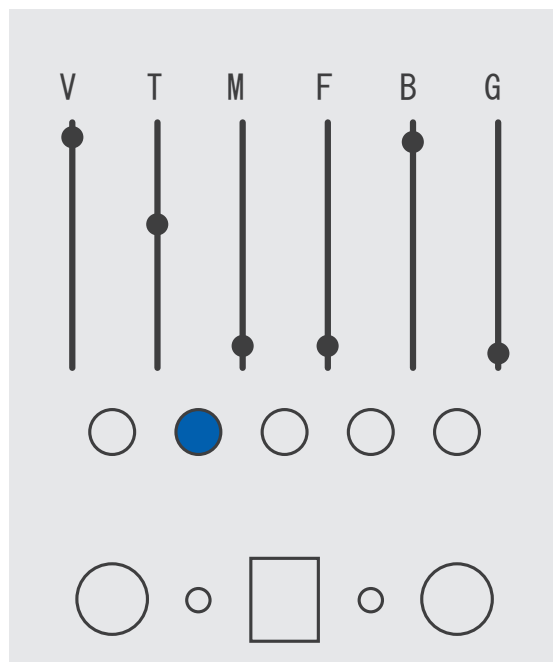
## PRESET NAME ZZ



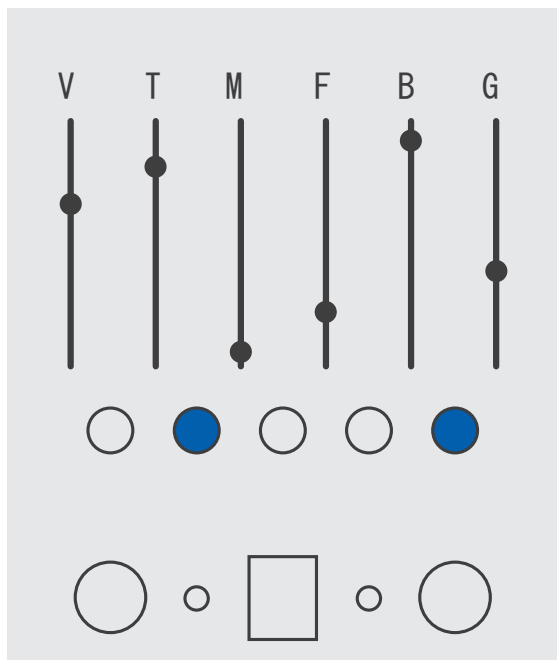
**PRESET NAME**  
**TONE PONY**



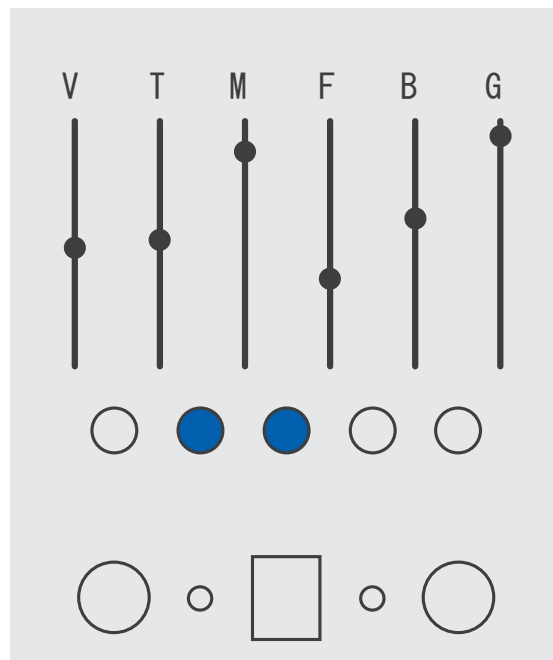
**PRESET NAME**  
**FAT BLACK PANEL**



**PRESET NAME**  
**SUPERFUZZ**



**PRESET NAME**  
**SHREDMASTER**



# PREAMP MKII

AUTOMATONE™

## MIDI CONFIGURATION

### MIDI CONTROL CHANGE CHANNELS

Parameters	CC#	Value/Descriptions
<b>SLIDERS</b>		
VOLUME	14	
TREBLE	15	
MIDS	16	0でフェーダーをフルダウン、127でフルアップ。
FREQ	17	中間の値はフェーダーの中間に対応。
BASS	18	
GAIN	19	
<b>ARCADE BUTTONS</b>		
JUMP	22	1: Off 2: 0 3: 5
MIDS	23	1: Off 2: Pre 3: Post
Q	24	1: LOW 2: Mid 3: High
DIODE	25	1: Off 2: Mid 3: High
FUZZ	26	1: Off 2: Open 3: Gated
<b>OTHER</b>		
PRESET SAVING	27	CC#0-29がプリセットスロット#0-29に対応
EXPRESSION	100	0でペダルをフルダウン、127でフルアップ。中間の値はEXPペダルの中間に対応。
BYPASS	102	0: バイパス(エフェクトオフ) 1(またはそれ以上): オン

Bank 1		Bank 2		Bank 3	
Preset #	CC Value	Preset #	CC Value	Preset #	CC Value
0	0	0	10	0	20
1	1	1	11	1	21
2	2	2	12	2	22
3	3	3	13	3	23
4	4	4	14	4	24
5	5	5	15	5	25
6	6	6	16	6	26
7	7	7	17	7	27
8	8	8	18	8	28
9	9	9	19	9	29

Preamp MKIIのパラメーターはCC(コントロールチェンジメッセージ)を使ってMIDI経由で制御が可能です。プリセットはCCで保存され、PC(プログラムチェンジメッセージ)で呼び出しが出来ます。

Preamp MKIIをMIDIコントローラーへ接続するには、標準的な5pinのMIDIケーブルを使用します。お使いのMIDIコントローラーの"MIDI OUT"ポートからペダルの"MIDI IN"ポートへ接続します。

加えて"MIDI THRU"ポートも用意されており、"MIDI IN"に入力されるMIDI信号をそのまま出力することで他の機器とのセットアップに便利に使用できます。

### MIDI CHANNEL

Preamp MKIIのMIDIチャンネルはデフォルトでは2に設定されています。

MIDIチャンネルを変更するには一度ペダルの電源を切り、両方のフットスイッチを押しながら電源アダプターを接続し、ディスプレイにナンバーが表示されたらフットスイッチを離します。このときペダルはPCメッセージの待機状態となり、設定したいMIDIチャンネルでPCメッセージを送ることで、そのチャンネルがMIDIチャンネルとして設定されます。再度変更されるまでそのチャンネルが登録されます。

### MIDIを使用してプリセットを保存する

ペダル上の現在のセッティングは、プリセット#0-29のどこへでもMIDIを使って保存が可能です。CC#27で0-29(プリセット#0-29に対応)を送信すると、対応するプリセットスロットへ保存がされます。またSAVEフットスイッチを長押しでも、現在選択しているスロットへ保存が可能です。

プリセットナンバーとCC#の対応は、左の表のようになっています。

### MIDIを使ってプリセットを呼び出す

プリセット#0-29はMIDIコントローラーから対応するPCメッセージ#0-29を送信して呼び出します。

例えば、PC#4はバンク1(左LEDオフ)、プリセット4をリコールします。PC#17はバンク2(左LED 赤)プリセット7、PC#20はバンク3(左LED緑)プリセット0を呼び出します。

### CONTROL CHANGE MESSAGES

Preamp MKIIはMIDIコントロールチェンジメッセージ(CC)で操作が可能です。フェーダー、アーケードボタン、EXPペダル、バイパスなどすべての機能をフル制御出来ます。

対応するCC#とValueについては左上の表を参照ください。

